



# 春夏秋冬

2023  
vol.32  
季刊発行

## eco 情報

### 「樹脂サッシ」

昔の家の窓は木製でしたので隙間風が入り寒い思いをしました。アルミサッシの登場で隙間風の問題はなくなりましたが、枠が金属なので熱を伝えやすく結露をしやすいので熱を伝えにくく寒さにも強い樹脂サッシが登場しました。北海道では90%の住宅で樹脂サッシが使われています。



## ワンジャ 王家 サイカン 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



### file No.032 「棗とクコの実のワイン漬け」



#### ● 材料 (500ml 容器分)

棗・・・40g  
クコの実・・・20g  
赤ワイン・・・300ml

#### ● 作り方

容器に棗、クコの実、赤ワインを注ぎ、漬ける。ヨーグルトなどにかけて食べてください。

#### ● 効能

棗:免疫力を強化する効果が期待できます。花粉症などのアレルギー症状を緩和する効果が期待できます。

クコの実:杏仁豆腐の上にちょこっと載っている赤い果実。クコの実は古くから中国では「不老長寿の薬」とされ、ビタミンB1、B2、ポリフェノールなど非常に豊富な栄養が含まれている。

暑い夏を乗り切ってください。

## 編集後記

飲食、イベントが戻ってきた。

夏祭りも4年ぶりに開催され圧巻だった。

建築の世界も回復に向かうことを願う。

### ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設  
羽生市中央2-6-3 info@e-hous.co.jp  
☎048-561-6878 編集長：中田 新一



● web もご覧下さい  
<http://www.e-hous.co.jp/>

## 夏が来た

今年も暑い夏が来ました。

暑さの原因は温度と湿度。気温が28度でも湿度が50%なら、そんなに暑く感じませんが、湿度が70%になると熱く感じます。温度を上げないためには、窓を工夫して太陽の熱を入れない。夜でも室内が熱いのは、屋間、屋根が太陽に照らされ天井裏の気温が、40度から50度にもなっているから夜になっても天井裏の気温が下がらないから夜になって外気温が下がっても暑いのです。

壁の断熱材も大切ですが窓を樹脂サッシにすると熱の流入も、だいぶ防げます。

当体感ハウスでは、夏は小屋裏の換気ファンを使って排熱しています。24時間換気も室内の空気を入れ替えることで除湿の役割も果たしています。

電気代高騰の折、エアコン以外の対策も考えてみては、いかがでしょうか。



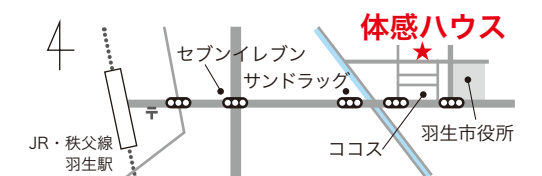
### お知らせ

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

## 夏の体感フェア開催

令和5年 /  
8月5日(土)・6日(日)  
午前11時～午後4時

夏の暑さが連日30度超え、住まいを考えてみませんか？  
家づくりのヒントが詰まっています。  
ご来場者様にはドライクコの実プレゼント。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

# OB report 訪問

小山建設で建てられた住まいへ訪問し住み心地をお聞きする事や、気になる建築関係の情報など、今後のより良い家づくりをするためのヒントを見つけたいと思います。



100年住宅再生

家は古くなると建て替えというのが一般的ですが、昭和2年に建てられた文化財クラスのお屋敷。

世代交代により新たに住む人が、使いやすく直して住むという選択をしてくれたおかげで、今回のリフォーム工事となりました。

和室は畳から板張りに、押し入れは使いやすいクローゼット扉に、壁は暗いので明るい壁に。台所、浴室、トイレは全面改装。

天井裏の電気配線は古いので全部配線やり替え、エアコンの設置、コンセントが少ないので各室に小壁を作ってコンセントスペースの確保。

工事を始めてわかったことは、壁の下地が竹組に泥壁下地なので天井裏も各室区切られていて、部屋ごとに天井点検スペースを作る。



部屋の仕切りは障子や襖なので壁がなく、そのために各室に小さな子壁を作ってコンセントスペースを作る。障子、襖、建具は細工が素敵なので極力使用する方向で工事を進めている。

3月中旬から工事を始めているがもう少し工事に時間が、かかるので2回に分けて掲載します。

## 地域の交流

### 祭りだワッショイ!

4年ぶりの夏祭り、しめ縄が2倍、食料品が2割高、準備の段階から、ここ2、3年の物価高からのスタート、2年前に引っ越してきた、お隣さんにも夏祭りの参加を通じて話さきっかけもできた。

お子さんの山車参加名簿を出してもらった名前、菜花(なのか)和花(のどか)結愛(ゆあ)一つも読めなかった。心配していた御輿の担ぎ手も予想以上に集まり、久々の祭りに期待も集まる、心配は雨季の中での開催なので天気だけ。当日は天気予報に惑わされながらも、お昼からの子供の山車は喜びの中に締めくくることができた。夕方の御輿は少し雨模様の中でのスタートだったが気温の低さに助けられ4年ぶりの御輿は集合地のプラザに向かって出発した。順調に進んでいたが後半、雨の勢いが強くなり少し早めの上りにはなったが、無事終了することができた。



## 匠の知恵

### 「夏の日よけ」

昔から夏になると窓によしやすだれを掛け、太陽の日差しを避けていました。

夏の日差しは家に入れてしまうと大変ですので、窓の外で対処しました。今の家ではデザイン的に不釣り合いのと手入れの面倒さで難しいかもしれません。麻布でできたデザイン日よけはいかがでしょうか。

